

医師中村哲の 仕事・働く ということ

アフガニスタンとパキスタンで、
病や戦乱、そして干ばつに
苦しむ人々のために
35年にわたり
活動を続けた男がいた。

1984年に医療支援をスタートし、干ばつ対策用の用水路建設、農村復興へと活動を広げた中村哲医師、その歩みは35年に及んだ。中村医師はまず現地の言葉を覚え、現地の人々との対話を通じ、信頼を重ねていく。「私たちに確乎とした援助哲学があるわけではないが唯一譲れぬ一線は『現地の人々の立場に立ち、現地の文化や価値観を尊重し、現地のために働くこと』である」用水路建設では自ら設計図を引き、重機を運転し、泥にまみれて一緒に作業する。その作業には貧しさゆえにタリバンに参加していた農民も参加していた。「己が何のために生きているかと問うことは徒勞である。人は人のために働いて支え合い、人のために死ぬ。



そこに生じる喜怒哀楽に翻弄されながらも、結局はそれ以上でもそれ以下でもない」荒れ果てた大地は蘇り、農作物は実り、65万人の生活を支えている。

親子で収穫し、家族で食事をする風景は眩しい。

中村医師は言う「これは人間の仕事である」



「長期にわたって中村さんに密着した映像は、中村さんとの信頼の証だ。中村さんは無念の死を遂げたが、この中に生きている。」

上野千鶴子氏（社会学者、東京大学名誉教授）

10/13(月・祝)①10:30～②14:00～＊各回 30 分前より受付/開場

弘前市民文化交流館ホール(弘前市駅前町 9-20 ヒロコ 4 階) ＊各定員200名

お申し込みは不要です(先着順) 当日直接会場にお越しください

ヒロコ 4 階 弘前駅より徒歩15 分 ※駐車場に限りがあるためお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

料金:一般 1,000 円 学生 500 円 障がい者・高校生以下無料

各回上映(47 分)後、本作品企画者等によるアフタートークを予定
「中村医師の生き方・働き方、労働者協同組合法から考える地域づくり」

当日会場にて〔本作 DVD〕〔中村哲医師関連書籍〕〔労働者協同組合法関連書籍〕を販売します。

【主催】労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団北東北事業本部【共催】一般社団法人日本社会連帯機構

【後援】弘前市 弘前市教育委員会 東奥日報社

【協賛】青森県生活協同組合連合会

【お問い合わせ】019-681-2091(北東北事業本部)または017-718-4073(青森事業所)

※ お問い合わせ受付時間 (平日) 10:00～17:00



国際協同組合法

協同組合はよりよい世界を築きます



WORKERS' COOP